

THE HARBOR LIGHTS

港に 灯が ともる

みんなもろい
街も、家族も、
わたしの心も

富田望生

伊藤万理華 吉本柚 山之内すず 中川わさ美 MC NAM 田村健太郎

土村芳 渡辺真起子 山中崇 麻生祐未 甲本雅裕

監督・脚本 安達もじり 脚本 川島天見 音楽 世武裕子

製作 ミナトスタジオ 配給 大秦 ©Minato Studio 2025 2025年 119分 DCP 日本

阪神・淡路大震災から30年 ————— 2025年1月17日公開

不格好でも迷っても、少しずつ、少しずつ。
わたしと家族とこの街の再生への通過点。

1995年の震災で多くの家屋が焼失し、一面焼け野原となった神戸・長田。かつてそこに暮らしていた在日コリアン家族の下に生まれた灯(富田望生)。在日の自覚は薄く、被災の記憶もない灯は、父(甲本雅裕)や母(麻生祐未)からこぼれる家族の歴史や震災当時の話が遠いものに感じられ、どこか孤独と苛立ちを募らせている。一方、父は家族との衝突が絶えず、家にはいつも冷たい空気が流れていた。ある日、親戚の集まりで起きた口論によって、気持ちが昂り「全部しんどい」と吐き出す灯。そして、姉・美悠(伊藤万理華)が持ち出した日本への帰化をめぐり、家族はさらに傾いていく——。なぜこの家族のもとに生まれてきたのか。家族とわたし、国籍とわたし。わたしはいつかどうしたいのだろう——。

映画初主演
富田望生



監督
安達もじり

圧倒的な取材量を基に、
アフター震災世代をリアルに描く
オリジナルストーリー

本作は2021年に公開した『心の傷を癒すということ 劇場版』を契機に、表情豊かな港町・神戸から世界へ響く映像作品を届けようと立ち上げられた「ミナトスタジオ」の船出作品。主人公・灯の苦しみや葛藤、成長を見事に演じ切ったのは今作が初の映画主演作となる富田望生。監督は、20年以上にわたり、NHKの演出家として「カムカムエヴリバディ」など数々のドラマを手掛けてきた安達もじり。神戸で暮らす人びとへの膨大かつ綿密な取材を基に、震災後をリアルに描くオリジナルストーリーを作り上げた。

大事なもんは
時間がかかるわ

港に
灯が
ともる

監督: 安達もじり 脚本: 川島天見 安達もじり 音楽: 世武裕子
出演: 富田望生 伊藤万理華 青木柚 山之内すず 中川わさ美 MC NAM 田村健太郎 土村芳 渡辺真起子 山中崇 麻生祐未 甲本雅裕
エグゼクティブプロデューサー: 大角正 プロデューサー: 城谷厚司 堀之内礼二郎 安成洋 取材: 京田光広
写真: 平野愛 製作: ミナトスタジオ 配給: 太秦 公式X: @minalomo117

2025.1.17 ROADSHOW

須磨寺上映会

会場
青葉殿

2025. 1. 25. 土曜 13:30 開場

自閉症と知的障害のある妹とその母に、兄の学生監督がカメラを向けた、みずみずしくも優しい家族の物語。誰にも話せなかった妹の存在… その妹とカメラで対話した監督は、映画を撮り終えた頃、家族との新しい関係を築き上げている自分に気づく。宝石箱をひっくり返したような奇跡のドキュメンタリー！



妹が僕に
映画を
つくらせた。
赤崎正和監督作品



- ◎ 『ちづる』 須磨寺上映会
 - ◎ 13:30 開場 14:00 上映
 - ◎ 会場 青葉殿講堂(1つ下の階)
 - ◎ 入場料 1,500円(学生500円)
- 予約不要 当日会場にて受付



～ トークセッション(上映後) ～
カメラを持った…
見えてきたのは自分だった



赤崎正和
『ちづる』
監督

×



池谷 薫
『ちづる』
プロデューサー

×



小池陽人
須磨寺
寺務長

駐車場は収容台数が少なく、お参りの方も利用します。公共交通機関のご利用をお願いいたします。

お問い合わせ先：須磨寺代表電話 078-731-0416

BB Plaza MUSEUM of Art
BBプラザ美術館

震災から30年

The seeds WAKKUN received &
the seeds he sowed for us

WAKKUNの

もらった
種と
まいた
種

ボクは、この人生で、うれしいことや悲しいこと、ほっとすること等、
たくさん味わって、それをこう、何かユーモラスで味わいのある絵
としてこれからも描いてゆきたいな。と、そんな風に思っています。

涌嶋克己

ボク、ほとんど毎日、
美術館におるぞも〜!!
会いに来てな〜♪



＼開館15周年／

会期 | 2024年12月3日(火)ー2025年2月2日(日)

開館時間 | 10:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、年末年始(12/26-1/6)

入館料 | 一般 500円/大学生以下無料

※65歳以上の方、障がいのある方とその付添いの方1名は半額

主催 | BBプラザ美術館、株式会社シマブンコーポレーション

後援 | 神戸市、神戸市教育委員会、朝日新聞神戸総局、京都新聞、神戸新聞社、産経新聞社神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞神戸総局、サンテレビジョン、ラジオ関西
協力 | 神戸雅堂

関連企画 | ◎WAKKUNライブペインティング ◎坂田明 Soloライブ

2025年1月17日(金)14:00-
ゲスト | KOKORO STAR

2025年1月14日(火)19:00-
料金 | 3,500円
予約制

◎友部正人 Soloライブ

2025年1月27日(月)19:00-
料金 | 3,500円
予約制

◎深川和美、三浦冨、ロビン・ロイド、竹松うどん店等、ステキな友だちもやってくるよ!

The seeds WAKKUN received & the seeds he sowed for us

ごあいさつ | 阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、見る方の心に寄り添い、人と人が深く想い合える展覧会として、神戸を拠点に長年活動をつづけてこられたWAKKUNの大規模個展を開催いたします。本展がご来場くださる皆様と共に、いま生きていることや人とのつながり、その喜びを実感できる場になればと心から願っています。



《祈り》

作家略歴 | WAKKUN (涌嶋克己 わくしま かつみ)

1950年神戸市長田区に生まれる。地元の山や田舎の鳥取で活発に遊ぶ傍ら、自らの物語や世界をつくり、絵を描く時間を大切にしている。少年期を過ごす。22歳の頃、本当に好きでやりたいことである“絵描き”になると決心する。80年代から画家、イラストレーター、絵本作家として活動を始める。日々の暮らしの中で心動いたことから生み出される絵と言葉による作品には、出会った人や出来事への想いと感謝が込められている。

95年の阪神・淡路大震災では障がい者作業所の再建を支援するチャリティTシャツのイラストを描き、各所でライブペインティングを行う。06年には新潟水俣病を主題とした絵本『阿賀のお地蔵さん』を制作。後の東日本大震災やコロナ禍、能登半島地震でも創作活動を通じた支援を行う。先が見えにくい世の中でも前を向いてできることを考え、支え合いながら自分の命を全うできたという思いで、社会と関わりつづけている。



震災から30年 WAKKUNのもらった種とまいた種

BB Plaza MUSEUM of Art
BBプラザ美術館

／開館15周年／

会期 | 2024年12月3日(火)ー2025年2月2日(日)

開館時間 | 10:00-17:00 (入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、年末年始(12/26-1/6)

入館料 | 一般 500円 / 大学生以下無料 ※65歳以上の方、障がいのある方とその付添いの方1名は半額

関連企画 | ©坂田明 Soloライブ

(予約制) | 2025年1月14日(火) 19:00-
会場 | 展示室 定員60名
料金 | 3,500円



©友部正人 Soloライブ

2025年1月27日(月) 19:00-
会場 | 展示室 定員60名
料金 | 3,500円

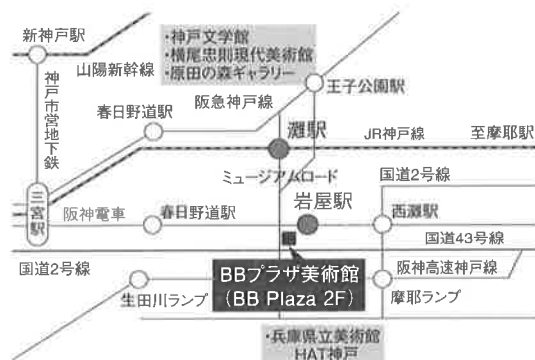


お問い合わせ | BBプラザ美術館

〒657-0845 兵庫県神戸市灘区岩屋中町4-2-7 BBプラザ 2F

TEL 078-802-9286 FAX 078-802-9287

Mail bbp_museum@shimabun.co.jp Web <http://www.bbpmuseum.jp/>



交通 | 阪神岩屋駅改札を出てすぐ南側・JR灘駅より南へ徒歩約3分・阪急王子公園駅より徒歩約10分
駐車場85台(30分まで無料)